

製品レベル	カテゴリ	理由/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
Ver.10a	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	McAfee VirusScan Enterprise 8.8に対応しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-
	クライアントインストーラ	機能改善	クライアントを新規インストールする時に自動でクイックアップデートエージェントをインストールするようにしました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-
	瞬間復元ドライブ	瞬間復元機能を使用する一時フォルダ内のファイル削除に失敗し、瞬快のタスクトレイのアイコンが赤色になる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-
	クライアントインストーラ	瞬快クライアントを復元タイプが「ファイル・フォルダ単位」でサレントインストールした場合、インストール後に修復対象・対象外領域を示すツリー表示が正しく反映されていない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-
	SROクライアントインストーラ	ひな型PCにシステムリカバリクライアントをインストールした直後にディスクイメージ取得を行った場合、そのディスクイメージを配信すると、配信先のPC上で「0091 指定されたファイルが存在しません」というメッセージが表示され、Windows環境設定の処理ができない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 上、特上	ひな型PCにシステムリカバリクライアントをインストールした後、「Deployment Agent」サービスを再起動してください。その後、ディスクイメージの取得を実施してください。	-
	インストーラ共通	「Windows ファイアウォール」サービスが停止している場合、瞬快のインストールに失敗する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	瞬快をインストールする際、「Windows ファイアウォール」サービスを開始した状態で行ってください。	-
	クライアント	瞬快クライアントサービスが起動しない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-
	サーバ	瞬快サーバサービスが起動しない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-
	管理機能	瞬快コンソールに登録されたクライアントPCが削除できない。 瞬快コンソールで削除したいクライアントPCを選択し削除を実施しても、「最新の情報に更新」を実施すると元に戻ってしまう。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 並	-	-
	システムリカバリ	システムリカバリ機能の「Windows環境の設定」サービスを実行した時に以下の情報が設定されない。 ・固定IPアドレス ・優先DNSおよび代替DNS	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 上、特上	弊社HPのトピックスで掲載しております「システムリカバリ」機能の後処理が正しく動作しないの「対応方法」を実施してください。	-
	システムリカバリ	システムリカバリ機能の「ディスクイメージ配信(端末設置後の後処理用)」サービスが64bit OS上で正しく動作しない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 上、特上	-	-
	システムリカバリ	システムリカバリ機能のコンソールとサーバが別のPCにセットアップされている環境下において、以下のサービス作成に失敗する。 ・「ユーザ指定処理(ファイル転送あり)」を含むサービス ・「瞬快サイレントインストール」を含むサービス ・「ハードディスクデータの消去」サービス	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 上、特上	-	-
	スケジューラ	別セグメントに存在するクライアントPCに対して、以下の電源オンを伴うスケジュールを実行しても電源オンに失敗する。 ・電源オン ・Windows Update連携	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10 【グレード】 共通	-	-
Ver.10b	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	ウイルスバスター Corp 10.0 に対応しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 共通	-	-
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Sophos antivirus 9.7 に対応しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 共通	-	-
	瞬間復元ドライブ	機能追加	瞬間復元機能なしインストールに対応しました。 瞬間復元を利用しない場合は、瞬間復元機能無しインストールを行うことで、ディスク暗号化ソフトとの共存が可能となります。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 共通	-	-
	システムリカバリ	機能追加	2011年度上期ESPRESSO、LIFEBOOKの新機種に対応しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 上、特上	-	対応機種の詳細は、瞬快のホームページを参照ください。
	システムリカバリ	機能追加	Office 2010 アクティベーションに対応しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 上、特上	-	-
	省電力機能	機能追加	富士通製ノートパソコンのピークシフト機能に対応しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 共通	-	ピークシフト機能が動作する機器については、瞬快のホームページを参照ください。
	運用支援	機能追加	複数サーバの分散化機能の負荷分散型に対応しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 共通	-	-
	管理機能	機能改善	有線LANと無線LANの両方を搭載したクライアントPCの、管理コンソールでの管理方法を改善しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 共通	-	-
	瞬間復元ドライブ	SSDを搭載したWindows7のPCにて、ファイルフォルダ単位の更新モードおよび、パーティション単位の修復モードと更新モードで運用を行うと、ファイルが壊れる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 共通	Windows7以外では発生しません。SSDがTrim機能に非対応の場合は発生しません。	-
瞬間復元ドライブ	Adobe Flash Catalystがファイルフォルダ単位の修復モード中に起動できない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 共通	-	-	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	クライアント	OS起動時に、UICollector.exeが動作を停止する場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10a以前 【グレード】 共通	-	
Ver.10b+	システムリカバリ	機能追加	Windows PEを使用した LIFEBOOK A561/C へのディスクイメージ取得および配信に対応しました。	【レベル】 Ver.10b以前 【グレード】 上、特上	NICベンダーのサイトから当該機種に対応したLANDドライバを個別追加する。	
	システムリカバリ	ESPRIMO D581/C および LIFEBOOK A561/C に対して、DR-DOSを使用したディスクイメージ取得および配信を行うと通信エラーが発生する。	LANDドライバを更新しました。	【レベル】 Ver.10b以前 【グレード】 上、特上	NICベンダーのサイトから当該機種に対応したLANDドライバを個別追加する。	
Ver.10e	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Symantec Endpoint Protection 12.11に対応しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	エプセキュア クライアントセキュリティ 9.20 に対応しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	クライアント	機能追加	クライアントの簡易設定機能で、次の製品のユーザー辞書を修復対象外に設定できるように対応しました。 ・Microsoft Office IME 2007 ・Microsoft Office IME 2010 ・ATOK 2011	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	リモート画面操作機能	機能追加	単一PC操作でマルチディスプレイに対応しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	リモート画面操作機能	機能追加	ファイル回収機能で、ログインIDでサブフォルダ分けができるようになりました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	システムリカバリ	機能追加	2011年度下期ESPRIMO、LIFEBOOKの新機種に対応しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 上、特上	-	
	アップデートキャッチャー	機能追加	最新レベルの製品のインストーラー一式をダウンロードできるアップデートキャッチャーを搭載しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	クイックアップデート	機能改善	更新モードのPCにクイックアップデート適用ができるようになりました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、次のブルースクリーンが発生する場合があります。 0x0000000a	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モード(メモリキャッシュ機能が有効)でインストールされたPCで、次のブルースクリーンが発生する場合があります。 0x00000050	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、Symantec Endpoint Protection 11.0でスキャンを行うとディスクの使用量が増大する場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モード(メモリキャッシュ機能が有効)でインストールされたPCで、次の条件の場合、OSがフリーズする場合があります。 ・Sophos Anti-Virusがインストールされている ・Sophos Anti-Virusのオンアクセス検索の検索タイミングの設定が「書き込んだとき」あるいは「ファイル名を変更したとき」のチェックが有効になっている。(デフォルトは無効になっている)	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	Sophos Anti-Virusの検索タイミングの設定で「書き込んだとき」および「ファイル名を変更したとき」のチェックを外してください。	
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、瞬間復元ドライブとWindows Searchのインデックス作成が競合し、OSがフリーズする場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	Windows Searchサービスのスタートアップの種類を「無効」に設定してください。	
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、「ファイルシステムの異常を検知しました」のエラーメッセージが表示される場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モード(メモリキャッシュ機能が有効)でインストールされたPCで、フォルダの変換操作や移動操作により、ファイルが消える場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、フォルダ階層を修復対象→修復対象外→修復対象に設定すると、最下層の修復されるべきファイルが修復されない場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モード(メモリキャッシュ機能が有効)でインストールされたPCで、フォルダをShift+Deleteキーで直接削除(ごみ箱を使用しない)すると、「予期しないエラーのため、フォルダを削除できません」のメッセージが表示される。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	ごみ箱に入れてから、ごみ箱を空にするとエラーは出ません。	削除できないメッセージが表示されても、フォルダは削除されています。
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モード(メモリキャッシュ機能が有効)でインストールされたPCで、修復対象フォルダにストリーム情報付き(例:ファイルのプロパティにブロックの解除ボタンがある)ファイルのコピーすると、0バイトのファイルとしてコピーされてしまう場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モード(メモリキャッシュ機能が有効)でインストールされたPCで、ショートファイル名(8.3形式)でファイルを扱うプログラムを実行したときに、正常に動作しない場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、Sophos antivirus 9.7のオンアクセス検索設定で「ファイル名を変更したとき」の場合、アップデートが動作しない場合があります。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	Sophos Anti-Virusの検索タイミングの設定で「ファイル名を変更したとき」のチェックを外してください。	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	サーバ	スケジュールから多台数のPCに対して電源オフ、WindowsUpdate連携等を実施した場合、成否結果が正しく表示されない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	スケジュール実行する際の同時実行台数を少なくしてください。	
	クライアント	瞬快のタスクトレイアイコンが準備中から進まない、表示までに時間がかかる、表示されない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	クライアント	瞬快のタスクトレイアイコンで「BzTray は動作を停止しました」というメッセージが表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	クライアント	マルチブート環境でクライアントの環境設定画面で、マルチブートの順番を変更してもクライアント起動時のOS選択画面の並びに反映されない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	クライアント	マルチブート環境にて、サブOSに対する状態通知または、命令実行に失敗する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	クライアントインストール	クライアントPCに空き容量の少ない外付けHDDを接続していると、インストールに失敗する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	外付けHDDを外してからインストールを行ってください。	
	WindowsUpdate	マルチブート構成において、スケジューラからサブOS(デフォルトブート)に対するWindowsUpdate連携指示ができない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	リモート画面操作機能	リモートコントロール複数PC操作 グループ再選で、レイアウトの異なるクライアントを選択した際に、画像が重なる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	vPro	vPro を使用した電源オンを多台数のクライアントに同時実行すると、異常終了する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 共通	-	
	システムリカバリ	マルチブート構成において、サブOSに対するSysprep実行が失敗する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10b+以前 【グレード】 上、特上	-	
Ver.10f	システムリカバリ	機能追加	システムリカバリ機能に、USBリカバリ機能を搭載しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 特上	-	
	システムリカバリ	機能追加	2012年度上期ESPRIMO、LIFEBOOKの新機種に対応しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 上、特上	-	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	トレンドマイクロ ウイルスバスター コーポレートエディションの以下のバージョンに対応しました。 ・10.6 ・10.5 Patch 3 ・10.5 Patch2.2 ・10.0 SP1 Patch4.1	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	エフセキュア クライアントセキュリティ 9.31 に対応しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	ウイルス対策ソフト連携	機能追加	Sophos Endpoint Security and Data Protection 10.0 に対応しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	WindowsXPの場合はサポート外です。
	システムリカバリクライアントインストール	機能改善	システムリカバリクライアント機能をインストールする際に、ボリュームシャドウコピーを削除する機能を追加しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 上、特上	-	
	瞬間復元ドライブ	ファイル・フォルダ単位の修復モードの場合に、シンボリックリンクが正しく動作しない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライブ	ファイルフォルダ単位の修復モードにて運用中に、Adobe Photoshop Elements を使用するとWindowsがフリーズしてしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライブ	以下のような事象が発生する場合がある。 ・修復モードにするとWindowsが起動しなくなる ・修復ポイントの設定処理が途中で停止する	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライブ	ファイル・フォルダ単位の修復モードで運用した場合に、次のSTOPエラーが発生する場合がある。 0x0000008e 0x0000003b	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	Windows Searchサービスを無効に設定してください。	
	瞬間復元ドライブ	PC起動時のOS切り替え画面において、非表示設定(##付き)になっているOSが表示されてしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	瞬間復元ドライブ	ファイル・フォルダ単位の修復モードかつメモリキャッシュ機能が有効な状態において、ストリーム情報付きのファイルを同じドライブ内の修復対象外フォルダへ移動するとファイルが消失する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	ストリーム情報付きのファイルを同じドライブ内の修復対象外フォルダに移動したい場合は、移動先に一旦ファイルをコピーした後、移動元のファイルを削除してください。	
	瞬間復元ドライブ	ファイル・フォルダ単位の修復モードかつメモリキャッシュ機能が有効にした場合、フォルダダイレクト機能が正常動作しない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	フォルダダイレクト機能を使用する場合は、メモリキャッシュ機能を無効に設定してください。	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	クライアント	Syunkai Clientサービスが、起動しない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	クライアント	タスクトレイに表示される瞬快アイコンが表示されない、または準備中から切り替わらない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	一度ログオフし、再度ログインなおしてださい。	
	クライアント	Syunkai Clientサービスが、予期せぬエラーで終了する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	クライアント	Windowsにログインした時に「iLixCollectorが停止しました」と表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	クライアント	空き容量の少ない外付けHDDを瞬快クライアントのインストールされたPCに接続した場合、空き容量不足のアラートが記録される。	外付けHDDは空き容量チェックをしないように修正しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	クライアント	PCがスリープ状態から復帰した場合に、アプリケーションエラーが発生する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	スケジューラ	スケジューラからの WindowsUpdate連携処理において、クライアントPCが応答しなくなるような異常が発生した場合、キャンセル指示を出しても指示が受け付けられるまでに長時間待たされる。	WindowsUpdate連携の強制キャンセル機能を追加しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	スケジューラ	登録したスケジュールが指定時刻に実行されない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	スケジューラ	一般権限ユーザーでWindowsにてログインし、瞬快コントロールにて、すでに登録されているスケジュールを編集しようとする、瞬快コントロールが異常終了する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	スケジュールの編集を実施する場合は、管理者権限のユーザーを使用してください。	
	スケジューラ	スケジューラ機能の電源オンの処理において、クライアントPCの電源が入らない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	WindowsUpdate連携	BzWuRunAgent.exe を使った WindowsUpdate連携のスタンドアロン実行を行った場合、アプリケーションエラーが発生する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	WindowsUpdate連携	WindowsUpdate連携処理中、更新プログラムを適用中の状態から処理が進まなくなる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	利用情報収集機能	利用情報収集機能において、一部のソフトウェアがインストールソフトの一覧に出てこない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	利用情報収集機能	システムリカバリ機能を実行したクライアントにおいて、利用情報収集機能でのイベント情報収集が実行されなくなる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	上、特上	
	サーバ	瞬快サーバサービス(Syunkai Manage Server)が、起動しない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	サーバ	Ver.10eの瞬快サーバに、Ver.10b以前の瞬快クライアントが多数接続されると、瞬快サーバサービス(Syunkai Manage Server)が停止してしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	サーバ	アラート通知機能において、「メール通知をしない」を設定できない。	ポリシーにてメール通知を切り替えることができるように改善しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	クライアントインストール	瞬快クライアントをインストールすると、コントロールパネルの電源オプションに関するいくつかの設定項目が変更されてしまう。	瞬快クライアントの動作に影響ない項目については、インストール時に設定を変更しないようにしました。 ・スタートメニューの電源ボタンの動作 ・PC本体の電源ボタンの動作 ・PC本体のスリープボタンの動作 ・LIDスイッチの動作 ・バッテリー切れの通知動作 ・バッテリー低下の通知動作	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	修復無効モードに一旦変更し、電源オプションの設定を変更後、再度、修復モードに変更してください。	
	クライアントインストール	仮想ドライブが存在するPCに瞬快クライアントをインストールすることができない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
	サーバインストール	瞬快サーバのインストール時に運用データを格納するフォルダを標準値以外のフォルダへ変更した場合、メール通知機能が動作しない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	瞬快サーバのインストール時に、運用データの格納フォルダを変更せず、初期値の状態のままインストールしてください。	
	クイックアップデートサーバインストール	インストール時と異なるユーザーでログインした状態では、クイックアップデートサーバのレベルアップ操作やアンインストール操作を行うことができない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	クイックアップデートサーバのインストールを行ったユーザーにて操作してください。	

製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	リモート画面操作機能	リモート画面操作機能にて遠隔操作を開始した場合、一斉操作のモードで開始されず、個別遠隔操作のモードで開始されてしまう。	一斉操作で開始するように修正しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	遠隔操作ボタンを再度押し、遠隔操作モードに切り替えてください。	
	システムリカバリ	ディスクイメージ配信の後処理またはWindows環境の設定処理において、「キーボードの設定を行っています」というメッセージが表示された後、動作が止まる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 上、特上	-	
	システムリカバリ	ディスクイメージ配信の後処理またはWindows環境の設定処理において、WindowsおよびOfficeのMAK認証を実行時、正しく認証が行われない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 上、特上	-	
	システムリカバリ	クライアントPCのリモート登録機能において、登録先のグループを選択してリモート登録を実行しても、そのグループにクライアントPCが登録されない。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 上、特上	-	
	システムリカバリ	システムリカバリサーバーのディスクイメージを格納するドライブに1TB以上の空き領域が存在する場合、システムリカバリコンソールがアプリケーションエラーとなる。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 上、特上	-	
	システムリカバリ	システムリカバリ機能のディスクイメージ配信にて、以下の機種（DR-DOSでマルチキャスト配信すると、配信中にエラーが発生する場合がある。B531/D、D581/D、D551/D、D551/DX、K552/D、K532/D、S761/D、A561/D、A531/D）	システムリカバリ時に利用する RealTek社のネットワークドライバを変更しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 上、特上	WindowsPEをご使用ください。	
	システムリカバリ	ディスクイメージ配信の後処理またはWindows環境の設定処理において、Windows XPにインストールされたOffice 2010のMAKアクティベーションに失敗する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 上、特上	次のサービスプログラムを開始してください。 Office software protection platform	
	資源配付	フォルダ名とファイル名が同一の資源を登録し資源配付をすると、クライアントPC側の資源受信処理においてエラーが発生する。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 特上	-	
	資源配付	100台規模の台数の瞬快クライアントに対して資源配付指示を実行すると、一部のクライアント（4～5台）で資源受信が開始されない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 特上	資源受信が開始されなかったクライアントに対しては、再度、資源配付指示を実行してください。	
	クイックアップデート	クイックアップデートによるアップデート処理にて、システムリカバリクライアントのアップデートに失敗する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e以前 【グレード】 共通	-	
Ver.10g	ウイルス対策ソフト連携	動作検証	トレンドマイクロ ウイルスバスター コーポレートエディション 10.6 SP1に対応していることを確認しました。	【レベル】 Ver.10f以前 【グレード】 共通	サポートいたしません。	
	ウイルス対策ソフト連携	動作検証	Symantec Endpoint Protection 12.1RU2に対応していることを確認しました。	【レベル】 Ver.10f以前 【グレード】 共通	サポートいたしません。	
	ウイルス対策ソフト連携	動作検証	ESET Smart Security V5.0に対応していることを確認しました。	【レベル】 Ver.10f以前 【グレード】 共通	サポートいたしません。	
	ウイルス対策ソフト連携	動作検証	エフセキュア クライアントセキュリティ 9.32に対応していることを確認しました。	【レベル】 Ver.10f以前 【グレード】 共通	サポートいたしません。	
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、Windowsのイベントログを開くと、日付順にソートされずに表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10f以前 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、ディスクにエラーが無いにもかかわらず、ディスクエラーがあると、誤ったメッセージを表示してしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e Ver.10f 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、修復モード時に作成したジャンクションが正しく動作しない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10f 【グレード】 共通	なし	
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モード（メモリキャッシュ機能が有効）でインストールされたPCで、Symantec Endpoint Protection 12.1のLiveUpdateを実行すると、0x7eSTOPエラーが発生する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10f 【グレード】 共通	メモリキャッシュ機能を利用せずに、ブロード機能に切り替えてください。	
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モード（メモリキャッシュ機能が有効）でインストールされたPCで、フォルダダレクトの設定がされているデスクトップやマイドキュメントなどで次の操作ができない。 ・フォルダのリネーム ・フォルダの削除（ごみ箱移動） ・フォルダの移動	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e Ver.10f 【グレード】 共通	メモリキャッシュ機能を利用せずに、ブロード機能に切り替えてください。	
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モード（メモリキャッシュ機能が有効）でインストールされたPCで、作成したフォルダを、ごみ箱へ移動させると、エクスプローラーがアプリケーションエラーになる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10f以前 【グレード】 共通	メモリキャッシュ機能を利用せずに、ブロード機能に切り替えてください。	

製品レベル	カテゴリ	理由/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	瞬間復元ドライブ	瞬快クライアントがファイルフォルダ単位の修復モードでインストールされたPCで、多量(数千から1万程度)のファイルをオープンするtox1AのSTOPエラーが発生する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10e Ver.10f 【グレード】 共通	なし	
	クライアント	全角英小文字を含むファイルやフォルダを、修復対象または対象外に指定しても、指定通りに動作せず、全角英大文字の修復対象、対象外として動作してしまう。 【例】 C:\k o m o j i ¥ を修復対象外と設定した場合でも、 C:\K O M O J I ¥ が修復対象外として動作してしまう。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10以前 【グレード】 共通	なし	
	WindowsUpdate連携	WindowsUpdate連携の処理中に、OSが再起動を繰り返すもしくは、連携処理が進まなくなり、タイムアウトしてしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10以前 【グレード】 共通	なし	
	リモート画面操作機能	画面転送終了時にクライアントPCのビューアプログラムが異常終了する場合がある。(アクセス違反を起し、異常終了のダイアログが表示される)	異常終了とならないようにプログラムを修正しました。	【レベル】 Ver.10以前 【グレード】 共通	クライアント側で異常終了のダイアログを閉じてから、コンソール側から再度画面転送を行ってください。	
	リモート画面操作機能	複数PC操作を起動後、クライアントPCの電源を入れたり、再起動をして、そのまま経過させると自動的にモニタリング開始できない場合がある。	自動接続できるようにプログラムを修正しました。	【レベル】 Ver.10以前 【グレード】 共通	複数PC操作を一旦終了させてから、再度起動してください。	
	システムリカバリ	ディスクイメージ配信後のWindows環境の設定でネットワーク設定に失敗する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10以前 【グレード】 上、特上	Deployment Agent サービスを遅延開始に設定してください。	
	システムリカバリ	ディスクイメージ配信後のWindows環境の設定でデフォルトゲートウェイの設定に失敗する場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10以前 【グレード】 上、特上	なし	
	システムリカバリ	USBリカバリ機能にてディスクイメージのバックアップまたはリストアを実施すると、アプリケーションエラーとなる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10f 【グレード】 特上	なし	
	システムリカバリ	ディスクイメージ配信関連のサービスにおいて、Windows環境を変更するタイミングにて処理が停止しタイムアウトになる場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10以前 【グレード】 上、特上	なし	
	システムリカバリ	ディスクイメージ配信サービスにて、64bit版Windows7のクライアントにインストールされている32ビット版Office2010のKMS認証を指示しても、認証処理が動作しない場合がある。	プログラムを改修しました。	【レベル】 Ver.10以前 【グレード】 上、特上	サービス作成Wizardにて「Office2010のアクティベーションを実行する」のチェックをせず、「ユーザ指定処理を実行する」の処理でアクティベーション用のコマンドを実行するよう設定してください。	